

壱 州 人 辞 典

壱 岐 島 の 人 と 暮 ら し



Iki island in Nagasaki , Japan



愛州人辞典
原田知征

愛州人辞典
大久保卓哉

愛州人辞典
平山真希子

愛州人辞典
坂口ほるか

愛州人辞典
岡谷啓康

愛州人辞典
和流五郎

愛州人辞典
平山康成

愛州人辞典
吉田ふたば

愛州人辞典
雲竜雄

愛州人辞典
山内秀文

愛州人辞典
畑 和加人

愛州人辞典
山本美恵子

愛州人辞典
松永晃生

愛州人辞典
沢野 浩

愛州人辞典
赤木 美子

愛州人辞典
吉富正一

愛州人辞典
山口 賢人

愛州人辞典
松田 正一

愛州人辞典
長田 康平

愛州人辞典
横山太三

愛州人辞典
後藤順美

愛州人辞典
藤永永子

愛州人辞典
山田武範

愛州人辞典
水谷友恵
ほい

愛州人辞典
村田大

愛州人辞典
長尾良子

愛州人辞典
玉村
じもと

愛州人辞典
山本 壽一

愛州人辞典
七種 紗紀

愛州人辞典
藤本 孝

愛州人辞典
松熊節子

愛州人辞典
山下次郎

愛州人辞典
角谷透

愛州人辞典
イブ アレン
出口 靖嗣

愛州人辞典
山下 輝昭

愛州人辞典
川畑みどり

愛州人辞典
江川 遼

愛州人辞典
佐藤 正彦

愛州人辞典
草野一也

愛州人辞典
吉川大貴

愛州人辞典
グウナハマ

愛州人辞典
大島尚

愛州人辞典
小嶋 光泰

愛州人辞典
山田 美子

愛州人辞典
山本 泰彦

工事名 徳崎 美智子
工 種 愛州人辞典
測 点 大妻南彦

愛州人辞典
中尾 祐也

愛州人辞典
平田 浩子
from Hi-Life

愛州人
辞典
藤原 昌隆

愛州人辞典
山本 義一

長崎県に多数存在する離島のひとつ、
玄界灘に浮かぶ壱岐島。

現代においても自然や食、歴史、文化と様々な魅力にあふれています。さらなる壹岐島を伝えるために、本辞典では地元出身者・移住者・年齢・性別問わず、この地で暮らす人に焦点を当てて紹介をしています。

「きつと会いに行きたくなる人がいる。だから壱岐島はおもしろい。」

私にとって壱岐は

「挑戦できる環境なのかな」
とっています

壱岐島ファーマーズサンド

梅田 はつみ

地域に馴染むまでにどんな出会い・

経験がありましたか？

商売をすると考えた時に、自分だけが儲かれば良いというよりも、地域の協力してくれる事業者さんと一緒にしたいと考えていました。

野菜の仕入れ先の農家さんも、協力隊

時代に知り合った方や、夫が趣味や仕事で知り合った方に尋ねて仕入れています。

A woman with short brown hair is laughing heartily, her hands covering her mouth. She is wearing a white shirt. The background is a bright, out-of-focus indoor setting with large windows.

農家さんやパン屋さんだけでなく、これまでに知り合った方が「応援するよ」と注文してくださる事もあります。買ってくれる方がいて商売が成り立つので、繋がりのおかげがたみを感じています。リピーターの方が七割ほどと多いですが、月ごとに変わる新しいメニューを楽しんでもらえているかなと思います。

地域おこし協力隊として、石田町の観光をメインに活動。令和
2年前の12月に退任後は、「受注販売」を始める。佐々木さん
は、島内丹波川に使用。サンドウイッチの愛称は「梅
菜サンド」。福岡県出身。2017年に岩崎市へ移住。

私にとって壱岐での神社探しとは

「人の笑顔と出会う喜び」

です

神社フォトグラフィ

渡邊 唯勝

これから壱岐でどんなことを

していきたいですか？

撮影した神社や祠の数は、千を優に超えているのですが、まだ撮影していない神社はあと十いくつあります。おいしいもの、つまり好物は後にとつておくタイプなんです。行くのが楽しみなので、これからゆつくりと巡っていき

つていききたいと思っています。

あとは、今後も地元の方に聞き込みをしながら、ほとんど知られていない、地図にも載っていないような神社を探していきたいと思います。

動き回るのが性分なので、行ったことのない場所へと足を踏み入れていくのは、ワクワクするし興奮します。

最終的には、撮りためた神社の写真と地図を組み合わせてまとめたと思います。

Facebook グループ「彦岐」にて、神社や人が魅力的な写真を投稿している。カメラマンアシスタントを経て、スタジオや「町の写真館」としての仕事をこなしていた。彦岐島内をデータベース化するという動きがあり、その撮影依頼をきっかけに、神社などを巡り撮影、記録する活動を続けている。彦岐市出身。

私にとって壱岐は、みんなが

「安心して帰ってこれる巣」

そういう壱岐にしていきたい

大 東 商 店

篠崎 美智子

島ならではの思うところはありますか？

また、どんなところですか？

壱岐一周駅伝ができる！
サイクルも壱岐一周できる！

四町対抗の駅伝大会に出た時には
湯本地区の坂しかない道をずっとずっと登って行っ
て、タスキを渡すのがきつかった！



男の人は軽くたんたんと
登っていった、私は必死！
本当にきつかったです。
でも女子で区間賞を取り
ました。

何が楽しくて何が好きで、
こえなことしよると？（こん
なことしてるんだ？）と思っ
たけど、自転車でも走るの
も仲間ができるから、そえん
と（そういうの）が楽しくて参
加させてもらっていました！

芦辺浦地区にある大東商店に生まれる。トライアスロンや駅伝大会など、スポーツイベントに参加する他、どろんこバレーなどイベントも主催する。商工会女性部部長も務め、壱岐の商業を盛り上げている。“歩く壱州語辞典”と言われるほどの壱州弁を話す。通り名は「大東のみっちゃん」。壱岐市芦辺町出身。



私にとって壱岐は「パラダイス！」

だってやりたいことは、

なんでもできるでしょう？

大 川 ラ ジ オ 店

大川 千恵子

島外からの移住者に対して

どのような印象を抱きますか？

芦辺浦地区は特にいろんなところから
移住してきている人がいるけど、嫌とい
うことはなく、親切にしてあげたいし、
分らないところは教えてあげたいです。

みんなが「思いやり」「目配り」「気配り」そういうのを持ったら
いいと思っています。それにどんな人が来るか、興味があつて、

タイミングがあれば、一緒にご飯
を食べたいし、そうすれば親しく
なれると感じています。

島の人たちは人情味が溢れて
いて、島外から来る人にも親切。
観光客の人には、「どこに行くん
ですか？」「ここが良いですよ！」
と教えてあげたいです。



移住してきた人がうまくやつて
いける秘訣は「地域に馴染むこと」
だと思います。

海女さんで有名な八幡地区に生まれ、高校卒業後、壱岐の事業所で勤める。芦辺浦地区にある大川ラジオ店へ23歳で嫁ぎ、子育てが落ち着いた頃、再度勤めに出る。退職後は義母の介護をしながら、漁時期になると磯に行き、ウニを獲っている。壱岐市芦辺町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「帰ってきた時になんもなくいい。
ホツとできる島。」

壱岐を離れた人間が島に帰ってきた時に、船を降りて、壱岐変わってないやん！と思うてほしいです。帰ってきた時にホツとできるような、自分の生まれたそのままの壱岐が良いなと思います！

あとはやっぱり壱岐の島はひとつになったら良いと思う。出てこい！令和の少壮資
時！がんばれ！若者！と思います。



アートイデグチ
出口 靖嗣

好きな野球球団は広島カープ。好きな選手は鈴木誠也。広島カープが勝った時には、玄関先にこいのぼりを挙げている。近所の小学生には「カープじい」と呼ばれている。高校野球も好きで、仲間内でカラオケに行ったら、歌い始める前にPL学園の校歌を歌うのがお約束。壱岐市郷ノ浦町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

65歳になって分かったのは、
「子育ては良い」。

福岡県内に一時間で行けるし、海の遊びもできる、山の遊びもできる。だから子育てには最適です。ただ進学は大変だから、中学までの子育てには最適。若いときは田舎っていうことが嫌いでした。十年間、島を出ていたけど、みんな自分の事を覚えていました。すべてを忘れてもらうために、さらに十年かかった。一年半の悪さを忘れてもらうために二十年かかった。でも今は壱岐が好きです。



大 八 若 ち ゃ ん
畑 若加人

中学卒業後、島外へ。仕事しながら定時制の高校を卒業する。20歳頃、壱岐に帰って来るも父と大喧嘩し、そとまきで再び島外へ。30歳で壱岐に戻る。老若男女問わず「若ちゃん」と呼ばれ、地域の保育園では園外講師のような役割を果たしている。壱岐市郷ノ浦町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

ある本から引用すると、「咲く」です。

自分が暮らしている環境には、個性的で芯のある方が多く、その個性の賜物が合わさり、花みたいに咲いているように感じます。

だから私はそれらを支える土や水のような存在でいたいです。

個性という、花々が咲く島、島で育つ子ども達も「個性は賜物」だと感じてくれたら良いなと思います。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「自給自足の島」

食材は美味しいものがいっぱいありますよね。みなさん土地があれば自分でほとんど作っていると思います。お米はあるし野菜は植えている。みそはお手製だし、納豆も作っています。牛は育てていますけど、やっぱり島外に出しちゃうから、お肉は買っています。ちよつと贅沢にするときにはお刺身も買います。自分達が生活してきた、そのものだからおそらく私だけでなく、壱岐に住む、みなさんそうだと思います。



勝本地区納豆組合
松熊 節子

23歳の時に嫁ぎ、夫と一緒に畜産業に従事。現在家業は息子夫婦に代替わりしたが、家畜の世話やアスパラガスの栽培の手伝いをしてる。壱岐納豆作りの他、一支米倶楽部という生活研究グループで郷土料理的なメニューのお弁当作りをしている。壱岐市郷ノ浦町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「来てみたら広いね っと思うかも
しれせんね」

理美容学校時代の同級生に壱岐の
ことを聞かれ、「壱岐ではソフトボール
でホームラン打ったらアウトばい！」
「寝返り打ったら片手は海に落ち込む！」

っち、そういう話ばかりしました。(笑)

何の知識もなく来たら、壱岐と対馬が
一緒だと思って、狭いって思ってたけど、
来てみたら、みなさん「壱岐は広いね」っ
てなると思う。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「元気の源」ですね。

島外での生活では育児に孤独感を抱
くことがありましたが、壱岐に来てか
らは周りに相談しやすいし、店に行っ
ても気さくに声をかけてくれます。

あと、昔からの壱岐の友人や、顔見
知りのご近所さんがいたおかげで、安心し
て生活しています。

もちろん、茨城の生活も楽しかったんです
が、こうして島に戻って毎日イキイキと生活
して仕事も育児も元気をもらっています。

私にとって壱岐は

「人生の出発点」

という感じかな

重家酒造 専務取締役
兼 日本酒杜氏

横山 太三

これから壱岐でどんなことを

やっていきたいですか？

僕はまだ満足していないんですよ。
もったくオリティをあげていきたいと
考えています。飲んだ人にうならせたい
んですよ、「これはうまい！」って。

僕ら日本一になるためにこの蔵を

建てているんです。九州の壱岐という島、ましてや長崎
の日本酒なんて誰も知らない中、東北・新潟の蔵を差し置

いて、「日本酒と言えば壱岐」
って言わせたいですよ。
やりがいあるじゃないです
か、自分で歴史を作るから、
それがいいなと思います。

たまたま僕は焼酎屋に生ま
れて、どうやって島に貢献し
ようかって思ったら、やっぱ
り焼酎と日本酒を通して島の
魅力を伝えていくのが僕の使
命かなと思ったので。

それが今完全にはできてい
ないけど、でも少しずつ形
にはなっていっているかな。



大正13年創業の焼酎蔵「重家酒造」に生まれる。映画『東京ラブ
ストーリー』を見て「東京に行ったらこんな恋愛ができるのか」と
夢見て上京、進学。先代の想いを受け継ぎ、28年間のブランクを経て、
2018年に日本酒蔵を新設。壱岐の日本酒造りを復活させた。長崎
の壱岐という小さな島から“日本一のSAKEを生み出して歴史を作
る”その熱い眼差しは世界を見据えている。壱岐市石田町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「ふるさとの再現・ふるさとの修復、
そんな感じがしますね。」

幼い頃苦労した故郷から離れ、今度は
この土地で、優しい田舎で生きている
ような気がしたんですね。昔の故郷を
再現するように、もう一度ここであつたり
と、その精神的な傷を受けていた子ども
時代が修復していくような…故郷の修復って
いうんですかね。そんな感じがしますね。
人が苦しむことは無駄じゃない、それは
あとに形成されると思いました。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「住みよい島」です。

農業も漁業も盛んで自給自足が
出来る、そんなに寒くない、病院
もある、端から端まで三十分しか
かからない、ショッピングは博多
に日帰りできる、博多に一時間で
行ける、など色々良さがありますが、狭
すぎず、広すぎずちょうど良い島です。
短期間の転勤で壱岐に来た人は、必ず
「帰りたくない！」って言いますよ。

私にとって壱岐は

「自給自足を愉しめる島」

です

未来派カゾク農園

松本 幸子

なぜ壱岐でその活動を

しようと思いましたが？

元々夫婦共に比較的健康志向でしたが、
私の両親をこの十年の間に病気で亡くし、
更に食への関心が高まっていました。

「私の体は今日食べたものでできている。」

そこから、まず美容と健康にいい野菜の

代表格、ニンニクに目をつけ、土作りから栽培を始め、今年で

四年目になります。

毎年自家採種を繰り返し、種
からの栽培にこだわりの無農薬、
無化学肥料、無除草剤で愛情を
持って育てています。

他にも様々な野菜や果樹を
育て、旬なものを食べること
を大切にしています。

人を巻き込んで農業をしている
のは、本業を疎かにはできない、
義母と私たち夫婦三人で拡大す
るには、とんでもない労力が必
要という、なかなか作業が進ま
ない状況の中で考えつきました。



壱岐川柳会 会長
江川 漣

戦時中に朝鮮（現、韓国）で生まれ、小学生
の時に壱岐に戻り、力強く生きる。御年80
歳を迎えられた現在も農業を営み、自身の目
指すユートピアを作り上げるべく、邁進中。
「壱岐川柳会 会長」「ボランティアガイド」で
の活動も行う。



壱岐キリスト協会
牧師
飛永 永子

1941年、神奈川県川崎市生まれ、新潟県
上越市育ち。高校では醸造科に属し、明治大
学農学を中退。醸造について学んでいた。夜
間の九州バプテスト神学校を2014年に卒
業。2018年12月より壱岐キリスト教会の
牧師。



高校卒業後、福岡のビジネス専門学校を経て、24歳で小さい頃
からの夢だった歌手を目指し上京。六本木や赤坂の会員制ラウン
ジなどで歌い続けるが、ある時、ふと“自分の居場所をここを果
たない”と福岡へ。中学校の同級生だった夫と運命的な再会を
し、結婚したのを機に28歳でUターン。得意なスポーツはバレー
ボール。壱岐市郷ノ浦町出身。

私にとって壱岐は

歴史・文化・豊かな食・災害が少ない

まさに「最高の島」でしょ！

株式会社ウセズワールド 鵜瀬 守

なぜ壱岐でその仕事を
しようと思いましたか？

海外で色んな人にお世話になって、それを壱岐に来島する方々に恩返しの意味で何か出来ないだろうかという事で色々取り組んでいます。

「一支国 CAMP style」を作っている幡鉢川（はたほこがわ）は歴史的に非常に意味のある場所なので、それを活かすべきという事で。ここで「ゆったりと時を過ごす」ことで、自分の時間を大切にすする体験を享受してほしい。この歴史・文化と景色がメインなんですよね。
あとは：「子どもの頃にやりたかったけど出来なかった事をしてみたい」っていう夢の実現もあるかな。この環境をぜひ活かしたい。もっと知ってもらいたいって思っています。



高校卒業後に壱岐を離れ、若い頃、バックパッカーでアメリカ一周の1人旅体験。フラワーデザインの修行や留学等も経てヨーロッパ、アジア、オーストリアなど、海外での仕事経験を積む。平成15年に帰島、一支国研究会に入会し壱岐の歴史や文化、名所旧跡について学んだ。その後、一支国研究会の理事長になり、原の辻ガイダンス、一支国王都復元公園の委託業務の運営を11年間務めた。壱岐市芦辺町出身。



私にとって壱岐は

「なりたいたい者になれる島」

です

カフェ・ド・ルディー 町田 久美子

移住後、以前住んでいた場所での生活と比べて環境や気持ちの変化はありましたか？

とっても大変なことでした。私が関東にいた時は、80'sでバブル全盛期だったんです！特にその頃、アパレル業界は勢いがあって、景気も良いからみんな華やかで派手でした。それから結婚を機に壱岐に来たら、夜はあたり一面真っ暗で「これは私の人生終わった！」と思いました。



二十代後半で免許も無くて、どこにも行けなくて、最初の四季はすごく長かったです。けど、いつまでもそんなこと言っても仕方ないと思って、だんだん違う視点を持ちながら、子どもを四人産んで育てた十年間は無我夢中で過ぎ去りました。
四十代からマリンスポーツを始め、そこから良い出会いや仲間が次々と出てきて、壱岐での良い人生が始まったという感じでした。

中学生の思春期真っただ中にロックと出会い、スピリットに感銘を受け育つ。高校卒業まで山沿いの町で過ごし、進学のために上京。卒業後はアパレル会社で5年間勤める。その後学生時代に出会い、交際していた夫との結婚を機に壱岐へ移住。1男3女の子宝に恵まれる。本名とは別に“築瀬綾（やなせ あや）”というペンネームを持つ。群馬県出身。



あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「海の幸の島」かなあ。

一番好きなのは地元の魚の刺身かな。魚の食べ方も普通と違うけんね、しようゆをぶっかけるけん、五切くらいとって、ばーってかけて。

うちのアワビも食べるなら刺身がいい。

焼いたり蒸したりでもいいけど、まずは刺身がおすすめかな。陸上養殖の特徴は、海流がないから身がやわらかいのが売り。でも歯ごたえもしっかりある。壱岐の魚はほんとに美味い。ぜひ食べに来てください！



住吉 正彦

福岡で就職した後3年ほどで帰島、実家の漁業の仕事を継いだ。一本釣り、カゴ漁、潜り漁などをしながら、2019年11月から陸上養殖でアワビと赤ウニを育てている。漁師っぽくない漁師、とよく言われている。壱岐市石田町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

考えてみると難しいですが、
「家のような感覚」です。

ただいまって帰ってくるところで、汚されたり、壊されたりしたら嫌ですし、俺の家で良いだろうと自慢にもなります。だから壱岐に住む人のことを家族のように思うところもあります。大学卒業後、数年間島外で仕事や勉強をするという発想もありましたが、壱岐が好きなので大学時代の四年間だけ島外にいて帰ってきました。



(有)宝亀商店 取締役 宝亀 継吾

登山/大相撲/政治/音楽/地域活性/テニスなど多分野に興味がある。カエル肉を食べてみたいドラマー。名前の由来は、生誕時に父が顔を見て「壱岐が大好きで、壱岐で生きていく顔をしている。」ということから店を「吾(われ)が継ぐ」という意味。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「一番ですね。うん、一番です。」

六十五年間生活してきて、災害はないので、まずそういうところは不安なく過ごせます。台風が来ても水害がない、こういうところで生活できるということは幸せだと思います。

家族間の触れ合いだったり、生活の安定だったりがあれば、若者が外に出て行かないのになって思います。退職後は、地域の為に自分の明るさとパワーを発信出来ることを信じて、恩返しをして行きたいと思っています。



笑顔あふれる大久保家 大久保眞智子

若い頃、ソフトボール実業団チーム「東芝」で4年間活動。帰島後、壱岐成年女子チームを立ち上げ、長崎県No.1チームに“強い壱岐”を見せた。60歳の時に孫が通っていたソフトボールチームの監督を2年間務める。壱岐市勝本町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

最初に思い浮かぶのは「自然」ですね。

壱岐は、植物が生えるのが早いので、壱岐島全体が生きていると感じます。朝日や夕日などを見に行くこともとても好きです。朝に歩いたり、走ったりすることが気に入っています。

次は「楽しい」「優しい」「深い」が思い浮かびます。島での楽しい経験、島民のやさしさと壱岐の深い歴史・文化ですね。アメリカの家族や友達も一緒に連れてきて、壱岐の素晴らしさ、自然の美しさを直接に紹介したいと思っています。



国際交流員 トレバー ウェスト

アメリカカリフォルニア州出身、2019年に壱岐に移住。観光課所属。(2021年退職)地域の外国語教育の普及と国際化の推進のための「ジェットプログラム」の国際交流員として来日、ランダムで選ばれた地域が壱岐島だった。好きな日本食は「寿司」、「お好み焼き」、「焼きそば」。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「自給自足ができる島」です。

海に行けば魚介類が穫れる。陸では米や野菜が採れる。贅沢をしなければ、特に不自由なく生活できる場所だと感じています。

製造現場から、輸出入のやり取りをする仕事までさまざまな経験をしています。海外出張も多く、刺激的な日々を過ごしていましたが、壱岐にいる両親や自分の将来を見据え、二十六歳で壱岐に戻る決断をしました。壱岐の自然の魅力を、仕事やプライベートでも島外へ発信出来たらと思います。



理系のハンター
公務員

山口 賢人

壱岐市出身、高校卒業後、進学のため福岡へ出て、高知県で就職。現在は、壱岐市役所観光課にて堪能な英語を活かし海外向けの情報発信を担当。休日には「クレール射撃」や「害鳥駆除」など銃に関する活動をしている。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「新鮮」ですね。

新鮮といっても単に食べ物が美味しいうて意味だけでなく、都会に住む人にとっては島民同士の距離感は新鮮な慣習だと感じるだろうし、現存する壱岐の神社や史跡も初めて見る人にとっては新鮮な景色に映ると思うんですよ。一見古いと思われるようなもの、見慣れないものも、それを初めて見る人にとっては新鮮に映る。そうした財産が壱岐にはたくさんあります。そこにこれだけ便利な環境でアクセス・経験できるのは、他の離島には無い大きなポテンシャルだと思います。



ゲストハウス LAMP 壱岐
支配人

井手 明夫

大学卒業後は専門商社に勤務、海外営業を担当し3年勤務後退職。その後はゲストハウス LAMP 野尻湖で宿泊部門の主任として勤務し、現在はゲストハウス LAMP 壱岐の支配人として運営を任せられている。壱岐市勝本町在住。佐賀県唐津市出身。

私にとって壱岐は

「頑張れる原動力」

です

壱岐 SSC (少年サッカークラブ)

監督

山田 武範

これから壱岐でどんなことを

やっていきたいのですか？

「島から夢を、島でも夢を」っていうのを僕自身いつも思っていて、それを子どもたちに伝えていきたいです。「島だから出来ない」っていうのが一番嫌なんです。島にいてもちゃんと学べて、夢を叶えるために将来の準備はきち



んとできる。

また壱岐市のスポーツ推進員としては、「スポーツを広い視野で」と思っています。スポーツが地域の中で果たす役割を考えながら活動していきたいです。スポーツ×福祉、スポーツ×環境問題など、スポーツと何かを掛け合わせながら活動することが、裾野を広げるという意味でも必要だし、競技の発展にも繋がると思っています。



中学生の頃サッカーと出会う。現在 働きながら、壱岐 SSC の監督、壱岐市スポーツ推進員としての活動も行っている。就職後、島外に通って審判免許や、JFA 公認 B コーチ資格取得。それから経験を積み、全国大会での審判も経験した。「島から夢を、島でも夢を」をモットーに壱岐の子どもたちの未来を照らす。壱岐市芦辺町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「老人憩いの島」です。笑

若い人も少ないでしょう？のんびりしているし。でも年寄りは都会の方が良いのかなとも思います。都会の方が目から、耳から、目からと刺激がどんどん入ってくるので、その方が生き生きしていると思います。壱岐では今日は天気が、トンビも飛んでいる、海はきれいだと、のんびりとしています。

でも昔、知り合いが来てくれた時に「道路が綺麗」「学校が素晴らしい」と褒めてくれました。子どもの教育にも熱心な県だと思っています。



あさの理容室

浅野 浩

1941 年に大阪府都島区で生まれる。幼少期は戦争が激しく、2 歳の時、母の出身地である岡山県に疎開。4 歳の時、父の出身地である徳島県に疎開し、壱岐で過ごす。その後上京し、就職。石油会社で勤め、同僚と出会い結婚。父盆裁集めもしていた。壱岐市郷ノ浦町在住。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「神代（かみよ）の國」です。

壱岐の島はさらに有史の以前に、ただただ存在していただけではなく、日本の形作りをしていたと言っても過言ではないと思っています。伊弉諾（いざなぎ）と伊弉諾尊（いざなぎのみこと）が一緒にあって、天一つ柱（あまのひとつばしら）になり、それが落ちて島になる。それが壱岐の島の始まり、そう言われています。壱岐から歴史が始まって、育まれてきたと思っています。歴史やルーツを知って、初めてその国の良さが分かってくるのではないだろうかと思っています。



一支部物館
ボランティアガイド

小嶋 武廣

1934 年に生まれてから現在に至るまで、浦地区で過した。内 40 年間は漁師を計を立てて、その後、島内の会社で勤務。現在は一支部物館のボランティアガイドとして、来客者に壱岐の歴史を伝えている。壱岐市芦辺町出身。

「壱岐におったら

どこにも行きたくないですね」

島としては最高と思いますよ

山本 真珠 有限 会社

山本 壽一

あなたにとっての壱岐を

一言で表すならなんですか？

壱岐におったらどこにも行きたくないですね。島の人は心も温かいし。やつぱ島としては最高と思いますよ。島でこんなところはないと思いますよ。



何にも不自由することはないし、福岡に行くときも一時間

あつたら行けるしですね。また生まれるなら、壱岐が良いです。そしてこの海際がいいです。

朝起きたら気持ちいいですもんね、海を見て、前には小島神社もあるし。この場所で良かったと思っています。

そして壱岐だったら少々お金なくてもやっていきますからね。食べ物海に行ったらあるし、野菜とかもえるしね。（笑）



山本真珠有限会社の 2 代目代表。1952 年開業の真珠養殖に加えて、2014 年から「長寿牡蠣」というブランド名で真牡蠣養殖と壱岐で初めての牡蠣小屋を始める。26 歳の時に 1 年間だけ上京。長いあごひげがトレードマーク。いつも聞く音楽は長洲剛。

私にとって壱岐は

「息子にとってのホームタウン」
になってほしいなと考えています

北京出身アーティスト
Lu Di (ル・ディ)

壱岐の生活に慣れるまで
大変だったことはありますか？

特にないですね。そもそも自分は
「外国人」として壱岐で生活している
つもりはないんですよ。

海外旅行のような一時的な訪問で

あれば、もちろん外国人としての感覚

はありますが、その土地に移住した場合、どこに住んでよ
うが住み始めたならそこが「自
分の場所」になります。だか
ら今も外国人としてではな
く、壱岐の住人として生活し
ています。

実際住み始めても、海外か
ら来たからと言って変な目で
見られることもないし、慣れ
ない日本語とボディランゲー
ジでもみんな理解してくれよ
うとしてくれる。何も気にな
ることはありませんね。
皆さんありがとう！



幼少の頃から古典派音楽の教育を受け、高校までは北京で過ごす。イギリスの芸術大学に留学し、卒業後もイギリスでアートスタジオを構え、インディペンデントアーティストとしてアートギャラリーと様々なコラボレーションを行う。また、オーケストラでヴィオラ奏者、西アフリカ伝統音楽打楽器奏者としても活動していた。2016年に中国に戻り、世界中から美術関係者が集まるアートフェアを企画運営する企業でギャラリー・リレーションとしてフリーランス勤務。



私にとって壱岐は

「原点と地域ブランド」
です

パン プ ラ ス
大久保 卓哉

地域に馴染むまでにどんな出会い・
経験がありましたか？

祖父の人脈がかなり後押ししてくれた
のは間違いないと思います。本土は隣近所
のつながりがそんなに濃密じゃないけど、
壱岐だと同じ地区だったらみんな顔見知
りで、いろんな話が広まって支援者が出
てきてくれる。移住者へのウェルカム体制は強い島だなと感じ
たのが移住当初の印象ですかね。



事業を興すとなれば、第一に考え
る事が損益分岐点だと思うんです
が、ここは「広告宣伝費のいらな
い島ですよ」というのは本土の方
によくお伝えしています（笑）
人口は減少していますし、人の
流通が多い地域ではないので、
ビジネスモデルによっては難し
さはあると思いますが、支出が少なく
というメリットがあるし、本土では
ハードルが高い事が可能な域にある
等、島ならではのメリットが多い。



父の介護をきっかけに2016年に移住。ソフトボールチーム「志原クラブ」の監督。子どもたちの何気ない一言から“夢や希望を与えられる存在”になるべく、製パン業の経験を生かして同年「パンプラス」を創業。ベーカリー事業から始まり、今後は更に”事業の多角化”を通じて“子どもたちの島内のキャリア選択の幅”を広げたい。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「空気がきれい」などころ。
教会から見る景色と空気が好きです
ね。以前は教会の前に竹藪がありまし
たが、今は刈り取って、芝生も手入れ
したので景色がとっても良くなりました
。時期になると菜の花を楽しむこと
もできます。

私はここを最期にしても良いかなと思っ
ています。空気も良いし。福岡に行つたら鼻炎
がひどくなります。だから良いところに来た
なと思って、地域奉仕も兼ね、せつせと自分
の住む場所と周りをきれいにしています。



壱岐キリスト教会
牧師

飛永 孝

馬場有馬市北原市島南長崎生まれ。鹿児島大学農学部を卒業後、自衛隊に入隊。その後、九州各地の大学生活協同組合運動の再建に従事。夜間の九州バプテスト神学校へ72歳で通い始め、2019年、79歳で卒業。卒業と同時に妻のいる壱岐教会で牧師に就任する。

壱岐のどこが好きですか？

休みの日は何をしていますか？

「えっとお、おさるの公園！」
「海で遊んでるー砂浜のいろんな海。
パパかママと一緒に」

海に行ったら、泳ぐのと砂遊びと、
あみでおさかなを捕まえたりしてる。
こないだひらめを獲った。

（親戚にあたる鮎割烹・曾根さんの生け
簀で生かして、大きくなったら食べようねっ
て言ってます。陸でも海でも常に網を持って
います。なにかを獲るのが大好きみたいです。
海入れる時期は海に行つて、寒い時期は公園
で遊んでいます。）※母佳奈さんの補足



瀬戸幼稚園生

眞竹 志門

壱岐出身の父と栃木出身の母のもと、2016年生まれた4歳児。3歳までめぐみ保育園に通い、4歳からは瀬戸幼稚園に通っている。好きな色は青。さけるチーズとウニが大好き。おねえちゃん
は2人で、仲良しのお友達は、まこも君とれん君。寝る前には父とおさかなクイズをしてから寝る。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

島外に出ていても帰るところがあつ
たから良かったなと思っています。何
かがあっても帰れる場所があるから、
何があっても心配はないかなと思いま
した。島だから、こういう気持ちが生
まれたのかもしれないですね。

あと島を出る時は海外だと思っています。
小さい頃は、ワクワクしすぎて夜寝られない
とか、到着した日の夜はいいことワーワーと
うるさくして怒られることもありまし
た。



松正商店代表
(Dori's Garage)

松田 正一

高校卒業後、島外へ。大学進学、車屋さんに勤めた後、帰島。宝亀継吾さんと同じ音楽バンド”FTC”のメンバーでベースを担当している。愛称はドリさん。4半期に1回、行きつけのお店で散髪をしている。大型バイクを所有しているライダーでもある。壱岐市郷ノ浦町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「守り育てていきたいところ」かな。

壱岐らしく田舎を未来的にというか、
自然を守って共存しつつ、でも生活の
質、心は豊かでいられるっていうのを
育てていたらなとは思っています。

やっぱり自分の生まれ育った地元には
廃つてほしくないし、都会に出てつた壱岐
の人たちがいつかふるさとに帰りたいな
って思ったときに、帰れる場所を守りたい
なっていうのもあつて。都会で疲れたら壱岐に帰
つておいでよ！みたいなね。



有限会社
しまのたまご屋さん

山本 義一

祖父の代から養鶏を営む家に生まれた。高校卒業後、岐阜県に3年ほど修行、平成7年から事業を引継ぎ本格的に養鶏事業を開始した。8000羽近い鶏を飼育し、赤玉の卵を島内メインで出荷している。趣味は写真、愛用のカメラはLUMIX。壱岐市芦辺町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「全部」ですね。

もともと自然が好きだから、自然と寄り添って生きるのが、すごく嬉しいです。だから都会にはここ数年は行っていないし、友達もいるけど、行かないです。会いたかったら、ここに来てって思います。



釣った魚を料理して食べるのが趣味です。大阪時代、料亭の料理人をしている釣り仲間から料理を教えてもらって、今では釣った魚をどう美味しく食べようかっていうことが、まず頭に思い浮かびます。

中津神社 総代長
平山 康成

生誕から中学1年生まで壱岐、中学2・3年生は対馬、高校3年間を再度壱岐で過ごした後、福岡の大学へ進学。卒業後は40数年大阪で過ごし、2015年に中津神社の総代長に任命され、単身帰郷。中津神社にある記念碑には、書道家である妻：平山祐彩が書いた隸書文字（れいしょもじ）が使われている。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「故郷でもあるし、ここで一生を終えると思っています。」



壱岐がいちばんです。海がきれいです。松山にも海がありますが、船がたくさん停まっついて、観光船もあるし。そういうところに釣りに行っていました。壱岐とは釣れる魚が違います。太刀魚やサヨリを釣ったりしましたね。壱岐では70cm強のヒラメや、40cmくらいのアジを釣りました。

80歳の釣り人
山本 美恵子

愛媛県宇和島出身で薬剤師をしていた夫と福岡で出会う。夫の仕事の転勤で福岡や鹿児島で暮らしていたが、夫の妹が暮らす四国・松山市にて個人で「三和薬局」を開業。35年間経営する。夫が亡くなった後も仕事の都合で6年間は単身で松山に暮らす。68歳の時にUターン。80歳を過ぎた今でも現役の釣り人。

私にとって壱岐は

「お楽しみ箱」

のような場所だと思っています

ダンス
平田 将楊

なぜ壱岐でその活動を

しようと思いましたが

自分がダンスを習い始めた頃からお世話になった先生から引き継いで、今は指導者として教室を運営しています。

この教室をきっかけに、大好きなダンスに関わる様々な仕事に携わることができたので、子ども達にも好きなことにはとことん挑戦



してほしいなって思いがあります。島の環境に関係なく、どんなことに対しても、「壱岐でも〇〇はできる」と子ども達が想いを抱けるよう、ダンスを通じて彼らの背中をそっと後押しできればと考えています。

壱岐はたくさんのチャンスに満ちた島で、都会よりも挑戦しやすい環境があると思います。

ダンスは中学時代から始め、大学進学を機に島外へ転居した。島外在住時は、ダンスパフォーマーとしてだけでなく、講師としても活動し、大手音楽事務所所属の有名アーティストから、地域のダンス愛好家まで多くの指導実績を残した。2021年にUターンし、壱岐島内でも老若男女幅広い世代にダンス教室を開催している。壱岐市勝本町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

島全体が、「歴史とロマンの島。」でしょうね。

陸地と繋がってれば、まだ発展するんでしょけど、島であつたから良かった部分もあつたんでしょね。中途半端な島はダメです。「橋掛けるには遠すぎる、飛行機飛ばすには近すぎる。」壱岐島はちょうど良い距離ですね！

あとは壱岐のウニは、いちばん味が良い。北海道のバフンウニの方が大きいけど、味は壱岐のウニの方が良い。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「無限の可能性のある島」ですかね。

人によつてはなんでもできるし、自給自足ということはなんでもある。温泉もあるし、いろんな可能性のある島なんじゃないかなと思っています。まだまだ可能性はあると思います！何よりも九州の玄関口、博多から近いっていうのも大きいと思います。本当に最近移住者の人も増えてきて、面白い島になってるんじゃないかなと思っています。

ISLAND
BREWERY
原田 知征

東京農業大学・農学部醸造学科卒業。2001年Uターンし、現：壱岐の蔵酒造に入社。2015年から2018年まで壱岐の蔵酒造代表取締役に就任。現在は原田酒造有限会社 代表取締役として、2021年に長崎県初となるクラフトビールライン・ISLAND BREWERYを開始した。コンセプトは「日本一魚に合うビール」。



私にとって壱岐とは

「食材の宝石箱や〜」

壱岐には色々な食材がありますよね

ソフトボール「志原クラブ」
キャプテン
山本 泰参

あなたの思う壱岐の

イチオシはなんですか？

自然がたくさんあること。あと海の幸がたくさんあることがいいなーと思います。お父さんに身長伸ばすために刺身とか食べると言われるので、よく食べます。

壱岐から自然がなくなると、僕が今

感じている壱岐じゃなくなってくると思うんですよ。自然がたくさんあるイメージです。自然がなくなるんですけど、どっちもいい面も悪い面もあると思うので、まあそういう部分を考えるとどっちでもいいのかなと思います。：やっぱり壱岐がいいなと思います。（笑）



福岡にはラウンドワンみたいな設備があるけど、壱岐には自然がたくさんある。どっちもいい面も悪い面もあると思うので、まあそういう部分を考えるとどっちでもいいのかなと思います。：やっぱり壱岐がいいなと思います。（笑）

ソフトボールチーム「志原クラブ」のキャプテンを務める小学6年生。郷ノ浦町にある円光寺に、4人兄弟の3男として生まれる。両親は平成16年に鹿児島から壱岐島に移住し、現在父は住職を務めている。得意なモノマネはプロレスラー武藤敬司。カレーは飲み物、唐揚げは3時のおやつ。甲子園球児を志し日々研鑽。

私にとって壱岐は

「みんなが一つ屋根にいらるような島」
ですね

イチノ珈琲焙煎所オーナー

草野 一也

壱岐に来て変わったことは

ありますか？

元々流されるのが嫌いな性格でした。意地でも自分が向かう所に行っていたのが壱岐に来てからは、「流されていいんだ」って思うようになりましたね。

あと、子どもと過ごす時間も変わりました。移住前は私も妻も勤めに出てたので、平日は子ども



を妻の両親に預けており、朝起きて実家へ連れて行き、お風呂に入れてもらってから、迎えに行くというスタイルでした。一日の中で一緒に過ごすのはほんの数時間だったのが、今では学校や保育所以外はずっと一緒。作業しながら子守りをしています。焙煎途中で「パパ、トイレ」と呼ばれることもしばしば（笑）

2020年3月末、小学校教諭の奥様の転勤により、お子さま2人と共に移住。常にワクワクする方を選ぶという信念をお持ちの草野さんは、思いがけず壱岐で焙煎所をオープン。長崎県南島原市出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「ふるさと」したい島」ですね。

私は福岡で生まれ育ちましたが両親も亡くなり子供の頃住んでた家もありません。移住して三年が過ぎ壱岐での生活にもだいたい慣れ、挑戦した仕事も島民の方に支えられて頑張れました。

十分な便利さはあるけれど都会ではない（笑）壱岐島は「ふるさと」って言葉がぴったりフィットすると思います。移住してきた人が皆「私のふるさととは壱岐島！」って言う場所になればいいなと思います。



足圧リンパマッサージ GREEN 代表

川畑 みどり

50歳の時、線維筋痛症を発症し大学病院への入院を繰り返していた頃足で行うマッサージ「フーセラピー」と出会う。鎮痛剤を飲んでも治まることがなかった痛みが施術後に緩和されたことに衝撃を受け「フーセラピー」「日本足圧協会リュウドゥビエ足圧術」の施術を取得。3年前、夫の定年退職に伴い壱岐に移住。「足圧リンパマッサージ GREEN」を開業した。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「しょうもないところ」です。

自分じゃしきらんけど、なんとかしてほしいですね。例えばフェリー代が安くなったら、観光客ももっと来ると思います。沖縄みたいに若い人が行きたくなる島になつたら良いよねと思います。

そのためには中身を変えるしかないですよ。来る人にどんどんお金を使うんじゃなくて、働くところをうまく作って、そういうところを援助して雇用出来たら良いよねと思います。

そしたら若い人たちが残れて、島を出ていく人も少なくなると思います。



シゲル イチノ

門谷 隆廣

家業が「民宿 門谷」を運営していた。18歳からサーフィンを始める。20歳から12年間、福岡でお店を運営し、32歳の時にUターン。もともと島外へ出る時に「長男なのでいつか帰って来ないといけない」と思っていた。そのタイミングはたまたまで「親孝行」のため。壱岐市石田町出身。

私にとって壱岐は

「食の宝庫」
美味しいやうない？食べ物（笑）

遊漁船 五郎丸 船長

松尾 五郎

これから壱岐がどのように

なつたら良いと思いますか？

もっと魅力的にするというよりかは、すでに魅力はあるたい。海はきれいだし魚釣れるし、美味しいもんはたくさんあるしね。若いころはそんな思わなかったけど、仕事してからは食の楽しみが大きくなってくる。仕事として「今日晩飯なんやろ」とか。



何を食べても壱岐のもんは美味いと思うんね、魚にしる、野菜とかお米、壱岐牛とか壱岐焼酎とか色々あるばってさ。色んなところに旅行したりしたけど、旅行先のご飯はあんまり美味いって思わんもんね（笑）たぶん都会の人からしたら他に何もないって思うかもしれないけど、でもそれだからいいんじゃないかと思う。もっとたくさんの人に壱岐に来てもらって、壱岐の魅力を感じてほしいな。

漁師の息子として生まれ、1996年より現在まで現役漁師一筋。2018年より勝本で初めての遊漁船“五郎丸”を始動。“玄界灘の大型魚”を追い求める全国の釣り人の夢を叶える敏腕船長。色んなお客さんの記念になる“メモリアルフィッシュ”を釣る手伝い出来ることにやりがいを感じている。何を食べても美味しいけど、夏から秋の時期はカツオ類が特に美味しい。勝本町出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「人柄の良さ」だと思います。

私だけでなく島外から壱岐に移住した人からも、壱岐の方は人情こまやかですねえ、とよく耳にします。

島を取り囲む豊かな環境がこうした人柄を築き上げてくれるのか、何が他の地域と違うんでしょうね？（笑）壱岐出身の私が言うとう画面自賛のようですが、壱岐に住む人にはそれだけ魅力があふれていることを、多くの方に知ってもらいたいです。



壱岐の蔵酒造株式会社 初代代表

篠崎 修

早稲田大学卒業と同時に父の懇願もあり、家業を継ぐために壱岐にUターン。3年後父の急逝により、幾多の辛酸を舐めた。1984年、6つの蔵を協業化し、約3億円の借入れにより、清酒「心意気」、リキュールの製造販売に努め、その名を全国に拡大するとに尽力した。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

自然がいっぱいで、

「子育てがしやすい」ですね。

子どもが男の子二人なので、今の季節「セミやクワガタ取りに行こう！」と言うんです。それも近所で捕獲できちゃうんです！

私自身、虫はちょっと苦手なんですけど、子どもたちのために頑張っています。（笑）子どもを連れて行くなら、遊具の多い、たかのほら憩いの森（公園）をオススメします！



江川製菓 野川 優美

江川製菓の長女として生まれ、物心ついた時から、両親と一緒にケーキ屋さんをしようと思っていた。高校卒業後、平岡製菓専門学校へ進学し、就職。しばらくして壱岐へ帰島し、現在は両親や従業員とともにケーキを作っている。5歳・1歳の男児を育てるお母さん。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

色々考えたんですけど、「人それぞれが持っている器を磨く場所」かな。その器も、知識であつたり、技術であつたり、人に信頼される、とか、人に教える、とか。自分の器も、おちよこ、くらいかもしれないけど、その大きさは変わらなくても小さいなりに集中して出来ることを磨いたら、それなりに他の人に負けない力になると思っています。

あとは最近どう？つて聞かれた時に「絶好調」と答えてください。そう言っている方が、体もだんだん絶好調になるし、良いです！



畜産農家
吉富 正一

諫早農業高校へ進学し、20歳まで島外で過ごす。5年間島外で過ごした時にできた友人とは、今でも交流があり糧となっている。国家資格の家畜人工授精師の資格も保有している。10tのロングボードを乗りこなすローカルサーファー。前職は農協のガソリンスタンドで23年間勤めていた。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「宝の島」

ここは第五の人生だと思っています。第一は恵庭市で生まれ育った幼年期・少年期。第二は学習、学びの時期。第三は会社を創立し商売を始めた時。第四は研究活動をした時。第五の今は「自然人」を目指して、巷の流行に影響されずに静かに過ごす。

「伝統を今の形に」というテーマで研究をしていたから、直感的に壱岐の歴史ロマン、神楽や神社の神秘性が、壱岐の宝、だと思ひ、活動を始めました。



Resort Office
「粹」iki 代表
本田 広昭

友人と設立した会社で40年程、役員を務める。退職後、不動産分野の人を集めた研究会を設立し、出版物を通した社会提言活動を10年間行っていた。コロナ禍を機に研究会を解散し、オールリタイヤして令和2年8月に東京から単身移住。現在はResort Office「粹」ikiを設置し、2匹の愛猫と暮らしている。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

壱岐は、「余生をゆっくり過ごせる島」です。

若いときには夜に街頭もなく、波の音しか聞こえない退屈な島だと思つたこともありました。特にわたしが住んでいる「初山地区」は静かでそれぞれの家も離れています。今は思うがまま、のんびり過ごしています。

稲刈りが終わつてからは農作業は休みで、その間趣味のプラモデルをして過ごします。倉庫を展示室、隠居を作業部屋として利用しています。若い頃から続けている趣味です。



プラモデル名人
山内 秀文

娘さんたちは嫁がれて、ご夫婦で生活している。市役所を退職後は米や野菜を作つて、稲刈りが終わる次の田植えまでは、趣味のプラモデル作りに精を出す。「ボタツ（ズメダイ）」の背切り（魚を下ろさず骨ごと切る刺身のこと）が好き。壱岐市郷ノ浦町初山地区出身。

あなたにとっての壱岐島を

一言で表すならなんですか？

「楽しく暮らせる所」かな。

友達がいいて、自然がいっぱいで食べ物美味しく、なんでも楽しめる所ですね。

あとは人が濃いのかな？都会はあつさりしていて良いんですけど、壱岐では隣近所も仲良しでそれも良いのになつて思っています。

帰りたくないと思つていた壱岐に帰ってきて、今は楽しんで暮らしています。不思議ですね。



小粋なソフト
吉田 双葉

吉田酒造5代目。銘柄は焼酎「壱岐の島」と、日本酒「男嶽」があった。父の代で合併して、現：壱岐の蔵酒造となっている。壱岐の蔵酒造では取締役として18年勤めていた。焼酎が大好き。自然も大好きで、大学時代は山岳部に所属していた。子ども2人が幼稚園生の頃、北アルプス大日岳にも登った。67歳で「小粋なソフト」を開業。

壱岐ってみんなにとって

「母体みたいな島」っすよね

優しくて穏やかなんですよね

あかり屋
角谷 透

壱岐で事業を行っていて、どこにやりがいを感じますか。

壱岐には材料やアイテムが無限にあつて、扱いたいものがいっぱいある！と思ひ、素材がありすぎて、逆に困りました（笑）

それでなかなか量販店さんには並ばない、例えば生きたオコゼのような変わった魚を仕入れたくて競りに行き始めました。



それから色々な経緯があり、お店とは別に鮮魚を全国に出荷する仕事を頂き、全国の市場や仲間さんとお取引を始めるようになりました。

高級料亭やミシュランの星付きのお店を顧客に持つような、高級な魚屋さんと毎日お取引をさせて頂く中で、魚を扱う姿勢や島内だけでは味わえない、価値観を感じて、その頃からより魚が楽しくなつてきましたね。



普段は4時半起床、5時から9時まで勝本漁協の競りに参加、11時頃まで鮮魚出荷の仕事をしたあと、夕方まで店の食材の買い出しや仕込みをしている。18時の開店から早くて23時閉店まで新鮮な魚料理や、焼きとりを提供している。平均睡眠時間は約3時間と過密スケジュールの中、睡眠時間を確保する為に意識して空白時間を作るも、気付いたら新商品を作ってしまう根っからの仕事人。思ひ入れのある魚種は沢山あるが、その中でも“ヒゲダイ”と“クエ”が好き。

私にとって壱岐は

「宝の島」

だと思います

畜産農家の現役ママ
長尾 良子

普段のタイムスケジュールを教えてください

朝、子どもの送り出しや家事が終わつてから牛の仕事をしします。牛舎の清掃、餌の準備など、また草切りや牧草をロールにする仕事、やることは山ほどあります。ルーティーンの仕事に加えて、突然



牛のお産が始まることもあつて、忙しいですが充実しています。用事がある時には自分自身で時間を調整したり、義父に仕事ををお願いします。義母は「子どものことを優先していいよ」といつも言ってくれています。家族だから仕事面でも生活面でもお互い支えあえています。もっぱら頼る方が多いですが（笑）

夕方は、子どもの習い事の送迎で出たり入ったりしながら晩御飯を作つて食べさせてと、まさに分刻みに動いています。

そんな中ですが、私自身も週二でソフトバレーをしています。慌ただしい中でも自分が楽しむことを忘れません。

高校を卒業後、島外へ。福岡で美容師として働いた後、アパレル業に強く憧れ、転職を決意。狭き門であつた、人気ファッションブランドの洋服店店員として働く。島外に出て約10年経つた頃、壱岐へUターンし、結婚。3人の子どもの育てながら義両親とともに畜産業を営む。勝本生まれ勝本育ち勝本嫁ぎのいつも元気なパワフルお母さん。



勝本港まつり